



発行所 農経新報社
 編集発行人 本多芳彦
 本社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28
 電話 03(3845)021100
 F A X 03(3845)0265
 支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4・1117
 電話 06(6341)102100
 F A X 06(6341)1023
 振替口座 00110-0-5752
 購読料 1ヵ年 15,200円

サイバーマルシェ検討 第1回のセミナー

植物工場協議会
人工工場

一般社団法人生産者のための人工光型植物工場協議会(高辻正基会長)は1月23日、都内のスタンダード会議室新橋フォラム店で、サイバーマルシェ分科会第1回セミナーを開催した。サイバーマルシェは植物工場生産者と各種実需者とのインターネットを介してマッチングを可能にするシステム。セミナーでは大阪府立大学植物工場研究センター特認教授・村瀬治比古氏が「サイバーマルシェについて」、NP



サイバーマルシェに期待したセミナー

ている販路確保の解決策になり、計画生産や地産地消を実現できるビジネスモデルと紹介。北海道や東北など各地域プロジェクトごとにサイバーマルシェを設け、地域内マルシェで先物の形で受発注の取引を行うことで、生産者が市場に参入できるほか、地域市場予測や生産管理、トレーサビリティ管理などにも役立つ。課題は商品品質の規格化で、イー・ピーニングが「法人イー・ピーニング理事長・井上健雄氏が「人工光型植物工場の野菜の安全・安心と第三者認証」について講演した後、総合討論が行われた。村瀬氏はサイバーマルシェについて、特に小規模植物工場の課題となっ

「人工光型植物工場の野菜の安全・安心と第三者認証」について講演した。現在、産学をあげてマルシェの構築に取り組み、3年以内には実用化したいと語った。